



Hirado City Photo News

5/12 南部地区の活性化へ向けて



平戸南部の志々伎地区にある福田酒造で、酒蔵開きが開催されました。

この日は、福田酒造の代表的な銘柄の「長崎美人」「福鶴」などの新酒の試飲が行われ、新酒の味を堪能した愛飲家などが蔵開き限定のお酒などを購入していました。また、敷地内にある資料館「福鶴じゃがたらお春博物館」の無料開放や、酒かすで作った蒸しパン、甘酒を使ったバナナスマージなどの販売、餅まきなども行われ、たくさんの家族連れなどでぎわいました。

Hirado City Photo News

5/12 サザエや大物魚をつかみ取り



志々伎漁協で、「第18回志々伎漁協お魚まつり」が開催されました。

このイベントは、日本でも有数の天然ヒラメ水揚げを誇る志々伎漁協が毎年開催しており、今年もステージイベント、サザエや魚のつかみ取り、マグロの解体ショーなどが行われました。

また、志々伎漁協で水揚げされた魚やアワビ、ウチワエビなどの海産物も、市場よりも安く販売されており、たくさんのお客さんが新鮮な海の幸を買い求めていました。

Hirado City Photo News

4/29~30 魚市場で田平の春のにぎわい



平戸魚市場で「第41回たびら春まつり」が開催されました。

ステージイベントでは、地元園児の踊りや高校生の太鼓、地元出身のアーティストのライブなどが行われました。そのほかにも、地元の農産物、海産物、園芸品、平戸牛、あごだしを使ったトムヤムクンやグリーンカレー、イノシシの肉を使ったソーセージなども販売されていました。その場で焼いて食べるバーベキューコーナーも人気で、家族連れや友人などでぎわいました。

Hirado City Photo News

4/21 桃と緑の景観を楽しみながら



春の平戸路の景観を楽しみながら歩く「平戸春風オルレ」が開催されました。

この日は、駐福岡大韓民国総領事館の孫鐘植総領事も参加し、約200人の参加者と爽やかな汗を流しました。スタート地点や休憩地点では、韓国の民俗芸能や伝統打楽器による演奏なども行われ、参加した人たちは楽しんでいました。

また、今回はオルレ塗り絵コンテストの表彰式が行われ、最優秀賞の作品で作った缶バッヂを参加した人たちにプレゼントしました。

Hirado City Photo News

3/20 スポーツ観戦が大好き



神船町の池田ツナさんが100歳のお誕生日を迎え、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

池田さんは、結婚後、農業などをしながら子どもを育てました。数年前までは、畑や磯に出ていたそうです。現在は、デイサービスに行くのを楽しみにしており、スポーツ観戦が好きで特に相撲、サッカーがお気に入りだそうです。

お祝い式では、ご家族や親戚の皆さんに祝福され、にぎやかな中うれしそうにあいさつしていました。

Hirado City Photo News

5/13 V・ファーレンを観戦



V・ファーレン長崎との連携協定に伴う「フレンドリータウン事業」の一環として、諫早市トランスクスモスタジアムで開催された「V・ファーレン長崎」のホームゲームに平戸市民の親子100人が観戦応援を行いました。

この日は、名古屋グランパスエイトをホームに向かえ試合が行われ、3対0で大勝しました。このほかにヴィヴィ君の誕生祭が行われ県内ゆるキャラが集結。平戸市からはモー吉君が参加し、誕生祭に花を添えました。

Hirado City Photo News

5/3 渡海人まつり



「第23回平戸海道渡海人まつり」が、平戸大橋公園特設会場で開催されました。3日とも比較的天気に恵まれ、観光客や家族連れなど3日間で約2万8千人のお客様でにぎわいました。

会場では、毎年恒例のタコのつかみどりや、地引網体験など、子どもたちに大人気のイベントが開催されたほか、市内の各事業所が出店した「渡海人うまかもん物産展」には、平戸の事業者や、飲食店などが出店し、多くの人が平戸の特産品などを買い求めていました。

Hirado City Photo News

5/3 生月の海の恵みを体感



生月町ふれあい広場周辺で「いきつき春の白月市」が開催されました。

今年は、会場を駐車場から海岸沿いに移動して行われ、毎年恒例の地元産の野菜や魚、加工品や軽食の販売のほか、小学生以下を対象としたファミリー釣り教室や魚のつかみどりなどが行われました。

魚のつかみ取りでは、大きな水槽の中で、ヒラマサやタイなどを捕まえようと、子どもたちがびしょ濡れになりながらも、一生懸命大物を狙って追いかけていました。